

### Three children and two apples

“Kazuko, why are you crying?” Taro asked.

“Yoshio and Sigeo pulled me.”

“Did you do anything to them?” Kimiko wondered.

“Both of them pulled me, saying ‘Why not come and play with us?’”

“I see. As you have been to the country, they are so curious about you.”

“You’re lucky to have a grandfather in the country as well in Tokyo.”

said Taro,

“Why not come to see him in Tokyo?”

“Let’s go and see him.”

The grandfather lived close to them. So they ran to him.

“Grandfather. We came to see you.”

“Good! Come on in, please. Well, I have nothing to give you except for two apples. The one who answered my question best shall have an apple and the others shall receive half of an apple.”

“Is it a difficult one?”

“No, it's an easy question. Which do you like better, your father or mother?”

Kazuo, the youngest, responded,

“I like Mom.”

Kimiko replied, thinking it was rude to her father that she said like that.

“I don't know.”

“I like both of them.”

Taro answered.

“All of you are good.”

The old man said, smiling.

After thinking for a while, he announced,

“Kazuo’s answer is the best. So I’ll give him an apple. The others will get half of an apple.” (2016.11.1 With Rich Ho)



### 三人と二つのりんご

「かずおちゃん、どうして涙を出したんだい？」

と、太郎さんが 聞きました。

「芳雄さんと 茂夫が ひっぱったんだよ。」

「何にも しないのに？」

と、君子さんが 言いました。

「遊びにおいでと言って、両方から僕をひっぱったんだ。」

「なあんだ、和夫ちゃんが、田舎へ行って来て、めずらしいからだ。」

「田舎のおじいさんもいいけれど、東京のおじいさんもいいな。」

と、太郎さんが いいました。

「おじいさんの所へ、遊びに行こうよ。」

「ええ、行きましょう。」

おじいさんのお家は、近かったのです。三人は駆け出しました。

「おじいちゃま、遊びに来ました。」

「よく来た。さあお上がり。何にもやるものがなくて困った。りんごが二つあるから、知恵試しをして、よくできたものに一つ、あとの二人に半分ずつやるとしよう。」

「難しい問題？」

「いや、易しい問題だ。お父さんとお母さんと、どちらが好きですか。」

一番小さい和夫ちゃんが、

「僕、お母さん。」

と、すぐに答えました。君子さんは、

「私、わからないわ。」

と 答えました。お父さんに、悪いと思ったからです。

「僕、どちらも好き。」

と、太郎さんが答えました。

「みんな、よくできた。」

と、おじいさんは笑いながら言いました。そして、色々と考えた後に、

「和夫ちゃんが一番よく答えました。ですから、和夫ちゃんにりんごを一つあげます。あとの二人には半分ずつ分けてあげます。」

と言いました。

